



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <https://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 魚澤 誠治

TEL 079-281-5151

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日 2021年8月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	12,729	△7.2	582	△10.2	593	△6.5	376	△12.2
2020年12月期第2四半期	13,718	△12.2	648	△24.7	635	△26.8	428	△23.0

(注)包括利益 2021年12月期第2四半期 403百万円 (△9.5%) 2020年12月期第2四半期 445百万円 (△22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	344.11	—
2020年12月期第2四半期	391.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	29,470	15,487	46.5
2020年12月期	27,282	15,147	49.0

(参考)自己資本 2021年12月期第2四半期 13,692百万円 2020年12月期 13,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年12月期	—	50.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	110.00	160.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2021年12月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当 50円00銭、記念配当 60円00銭(設立60周年記念配当)

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.7	1,000	△23.4	1,000	△23.2	650	△18.3	594.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	1,153,263 株	2020年12月期	1,153,263 株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	60,081 株	2020年12月期	60,081 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	1,093,182 株	2020年12月期2Q	1,093,182 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進んだことから世界的には経済活動の制限緩和が行われるなど、景気回復の兆しも見られたものの、日本国内においてはワクチン接種率が低く、経済活動や雇用環境が悪化するなど、先行きは非常に不透明な状況で推移しました。

国内の建設市場におきましては、民間建設投資が、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症に伴う景気の低迷により減少することが予想され、厳しい経営環境が続くものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては宮城県における大規模な太陽光発電所建設工事の受注を獲得するなど、新規顧客の獲得に努めました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、設備事業セグメントにおいて工事の進捗等による影響に伴い完成工事高が減少したことや、住宅事業セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間での引渡棟数が前年同期と比較して減少した影響などから、売上高は前年同期7.2%減の12,729百万円となりました。

利益につきましては、売上高の減少に加えて、設備事業セグメントにおいて前年同期と比較して収益性が低下した影響により、営業利益は前年同期比10.2%減の582百万円、経常利益は前年同期比6.5%減の593百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12.2%減の376百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、土木工事の中断等に伴う工事の進捗等による影響から、売上高は前年同期比3.2%減の4,698百万円、営業利益は前年同期比1.4%減の297百万円となりました。

<設備事業>

設備事業セグメントに関しましては、受注は順調に推移したものの工事の進捗等による影響から、売上高は前年同期比12.2%減の2,151百万円となりました。営業利益につきましては、前年同期に収益性の高い物件の完成があった影響から前年同期比84.5%減の21百万円となりました。

<住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において、前年同期と比較して引渡棟数が減少した影響等から、売上高は前年同期比9.6%減の4,807百万円、営業損失73百万円（前年同期は営業損失80百万円）となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、連結子会社である株式会社リブライフにおいて前期に不採算事業の見直しにより大阪府下での不動産仲介業から撤退した影響から、売上高は前年同期比2.5%減の693百万円となったものの、収益性が向上した結果、営業利益は前年同期比25.6%増の244百万円となりました。

<その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、連結子会社である株式会社リブライフにおいて運営する飲食店において緊急事態宣言や蔓延防止措置法等により営業制限があった影響から、売上高は前年同期比1.0%減の379百万円、営業利益は前年同期比4.5%減の91百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、当第2四半期連結累計期間に当社において工事代金の回収に伴い現金預金が増加したこと等により、29,470百万円（前連結会計年度末は27,282百万円）となりました。

負債につきましては、当社において未成工事受入金が増加したこと等により、13,982百万円（前連結会計年度末は12,134百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により15,487百万円（前連結会計年度末は15,147百万円）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、投資活動により787百万円減少しましたが、営業活動により2,297百万円、財務活動により865百万円それぞれ増加した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,657百万円（前年同四半期末3,171百万円）となりました。

主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少190百万円等の減少要因がありますが、未成工事受入金の増加1,185百万円、売上債権の減少412百万円及び税金等調整前四半期純利益585百万円等の増加要因により、資金は2,297百万円の増加（前年同四半期は858百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出776百万円等の減少要因により、資金は787百万円の減少（前年同四半期は1,403百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出822百万円等の減少要因がありますが、短期借入金の純増加1,080百万円及び長期借入れによる収入690百万円の増加要因により、資金は865百万円の増加（前年同四半期は1,305百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績につきましては、2021年2月12日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,261,103	3,641,784
受取手形・完成工事未収入金等	3,306,657	2,959,597
たな卸資産	4,760,701	4,615,056
預け金	46,157	41,068
その他	701,849	758,363
貸倒引当金	△3,083	△2,290
流動資産合計	10,073,385	12,013,579
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,651,147	4,263,503
機械・運搬具(純額)	1,736,806	1,606,746
工具器具・備品(純額)	694,970	739,155
土地	9,124,744	9,120,972
リース資産(純額)	61,982	97,605
建設仮勘定	1,414,801	85,825
有形固定資産合計	15,684,454	15,913,809
無形固定資産		
リース資産	—	22,732
その他	12,218	18,859
無形固定資産合計	12,218	41,592
投資その他の資産		
投資有価証券	581,944	583,920
繰延税金資産	481,058	478,874
その他	492,765	481,710
貸倒引当金	△43,392	△43,092
投資その他の資産合計	1,512,375	1,501,412
固定資産合計	17,209,048	17,456,814
資産合計	27,282,433	29,470,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,628,553	1,438,123
短期借入金	1,970,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,121,475	1,066,749
リース債務	28,370	40,711
未払法人税等	187,565	163,625
未成工事受入金	1,435,432	2,621,378
賞与引当金	153,654	164,748
役員賞与引当金	20,700	—
完成工事補償引当金	34,713	24,697
資産除去債務	47,500	46,472
その他	794,559	680,515
流動負債合計	7,422,523	9,297,021
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	3,049,431	2,971,768
リース債務	35,368	88,251
退職給付に係る負債	568,727	589,094
役員退職慰労引当金	113,885	104,075
資産除去債務	274,190	273,175
その他	370,524	359,124
固定負債合計	4,712,127	4,685,489
負債合計	12,134,650	13,982,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,953,618	12,275,133
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	13,313,880	13,635,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,243	60,078
退職給付に係る調整累計額	△3,627	△3,080
その他の包括利益累計額合計	53,615	56,997
非支配株主持分	1,780,286	1,795,490
純資産合計	15,147,782	15,487,883
負債純資産合計	27,282,433	29,470,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	13,718,523	12,729,344
売上原価	10,661,801	9,839,912
売上総利益	3,056,722	2,889,432
販売費及び一般管理費	2,408,572	2,307,109
営業利益	648,149	582,322
営業外収益		
受取利息	3,394	3,472
受取配当金	3,552	5,411
持分法による投資利益	4,042	1,765
助成金収入	141	10,161
その他	11,264	10,999
営業外収益合計	22,395	31,810
営業外費用		
支払利息	15,660	14,492
支払手数料	12,760	—
その他	6,680	5,698
営業外費用合計	35,100	20,191
経常利益	635,444	593,941
特別利益		
固定資産売却益	38,454	—
特別利益合計	38,454	—
特別損失		
減損損失	—	3,772
固定資産除却損	4,499	1,020
投資有価証券評価損	5,524	3,516
特別損失合計	10,023	8,308
税金等調整前四半期純利益	663,875	585,633
法人税等	209,915	185,589
四半期純利益	453,959	400,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,452	23,870
親会社株主に帰属する四半期純利益	428,506	376,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	453,959	400,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,237	2,834
退職給付に係る調整額	937	546
その他の包括利益合計	△8,300	3,381
四半期包括利益	445,659	403,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,206	379,555
非支配株主に係る四半期包括利益	25,452	23,870

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	663,875	585,633
減価償却費	258,889	251,891
減損損失	—	3,772
のれん償却額	20,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,637	△1,092
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,220	11,094
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,300	△20,700
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△121,601	△10,015
工事損失引当金の増減額(△は減少)	3,237	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,686	21,153
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,840	△9,810
受取利息及び受取配当金	△6,946	△8,884
支払利息	15,660	14,492
持分法による投資損益(△は益)	△4,042	△1,765
固定資産売却損益(△は益)	△38,454	—
固定資産除却損	4,499	1,020
投資有価証券評価損益(△は益)	5,524	3,516
売上債権の増減額(△は増加)	1,174,717	412,525
たな卸資産の増減額(△は増加)	383,607	145,049
仕入債務の増減額(△は減少)	△419,706	△190,429
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△618,716	1,185,945
その他	△216,346	118,234
小計	1,144,281	2,511,631
利息及び配当金の受取額	8,902	10,840
利息の支払額	△16,894	△14,724
法人税等の支払額	△277,644	△210,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,644	2,297,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,636,536	△776,224
有形固定資産の売却による収入	252,361	—
資産除去債務の履行による支出	△20,029	△3,306
無形固定資産の取得による支出	—	△7,590
投資有価証券の取得による支出	△300	△1,617
その他	1,210	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,403,295	△787,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	780,000	1,080,000
長期借入れによる収入	1,410,000	690,000
長期借入金の返済による支出	△729,389	△822,389
社債の発行による収入	295,625	—
社債の償還による支出	△300,000	—
リース債務の返済による支出	△44,024	△18,605
配当金の支払額	△98,233	△54,617
非支配株主への配当金の支払額	△8,666	△8,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305,312	865,722
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	760,662	2,375,592
現金及び現金同等物の期首残高	2,411,335	1,282,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,171,997	3,657,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。